

第36回中央委員会を開催

2023春闘方針について、

意思統一を図る！！



JR連合政所局長



大杉委員長

2月6日、博多市内において開催し、2023春闘を含む当面する活動方針を満場一致で可決しました。委員会を代表して挨拶に立った大杉委員長は、「会社の業績が厳しいからといって、賃金を抑制することは許されない。組合員の気持ちを汲んで強い決意で闘っていく」述べ、来賓のJR連合政所局長からも「今春闘は要求実現に向け『ONE TEAM』で闘っていく」と力強く述べられました。質疑においては各委員より、春闘決意・安全問題・組織課題・人事制度・政策課題・政治問題・定年延長・ダイヤ改正等について多くの発言があり、辻村書記長が集約答弁しました。

JR貨物グループは、大変厳しい経営状況を強いられていますが、「業績が悪いから賃金を抑制する」ことは許されることではありません。物価の上昇は著しく大幅な賃金改善がなければ、飛躍どころか組合員の停滞感が増し会社の発展はありません。飛躍するには「土台作り」が必要であり、働きやすい労働環境を実現するためにも、貨物鉄産労は力強く会社と闘っていきます。



JR連合相良組織部長



開会の挨拶 小笠原副委員長



団結ガンバロー